

# かわらばん

第14号  
'11/8/22  
発行

発行：あしや市民活動センター（指定管理者：(特活)あしや NPO センター）〒659-0064 芦屋市精道町 5 番 11 号  
TEL:0797-26-6452 FAX:0797-26-6453 HP <http://www.ashianpo.jp> E-Mail : aia@ashianpo.jp

- 芦屋市民による東日本大震災被災地支援の動き .....1 面
- 市内中間支援団体交流事業 All Ashiya 交流会・2011 夏 ..... 2 面
- F P セミナー「親子でマネーゲーム」 .....3 面
- 市民による映像制作セミナー開催報告 .....3 面
- 親子で平和をかんがえる・平和をつくる ~被災者が語る 絵本「青い空」~ ..... 3 面
- 予告 第4回あしや市民フェスタ ..... 4 面
- 相談会
  - ・ NPO 定例相談
  - ・ マンション（分譲）管理運営無料相談 ..4 面

予告

## 第4回 あしや市民フェスタ

～このまちがすき～つなげよう、支え合おう～

- 日程：平成 23 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）  
 場所：潮芦屋交流センターおよび親水緑地  
 内容：・【講演会】講師：堀内 正美 <俳優・市民活動家>（予定）  
 ・活動分野のテーマ別セミナー、ワークショップ  
 ・復興支援および障がい者支援バザーなど

市内の市民活動団体の交流と活動発表の場です。  
東日本大震災復興支援と国際交流をテーマに開催予定。



### 定例 NPO 相談会

毎月第4火曜日 午前 10 時～午後 3 時

ご相談をご希望の方は、ご連絡ください。  
(日程が合わない方は、別途調整させていただきます)

#### こんな方をお待ちしています。

- ・ 法人格を取得して、今活動している市民活動を活性化したい！
- ・ NPO 法人の運営、ボランティアグループの運営に困っている。
- ・ ビジネス経験を活かして、新たなソーシャルビジネスをはじめてみたい。
- ・ 何か、生きがいになる活動をしてみたい。
- ・ 趣味や技能を活かした活動をしてみたい。

### マンション(分譲)管理運営定例相談会

毎月第1、3木曜日午前 10～12 時

芦屋市の分譲マンションの役員、区分所有者、マンション購入希望者の方がお持ちの疑問や悩みなどの相談を無料でお聞きし、専門の相談員がアドバイス致します。

事前予約制です  
お電話にてお申込下さい。  
TEL.0797-38-6841

## 芦屋市民による東日本大震災被災地支援の動き

～市民が立ち上げた「A-I プロジェクト」をご紹介します～

### ◇宮城県石巻市支援プロジェクト (A-Iプロジェクト) の立ち上げ

あしや市民活動センターには震災発生後、多くの市民の方から“何か出来る事はないか?”“現地の情報が欲しい”などの連絡をいただき、震災に関する会合の場の提供や現地の情報の提供を行っております。5月19日に、多くの市民の方々からのご意見や熱意に応えた形で『わたしたちになにができるか考えましょう』と題し、意見交換会を開催致しました。

芦屋市は3月11日の震災発生当初より職員の派遣を行い、現在では宮城県石巻市の支援を行っています。

そこで市民も行政と協働する形で、芦屋(A)→(から)石巻(I)を支援する意味の『A-I(あい)プロジェクト』を市民が立ち上げ、約30人が出席し、議論を重ねてきました。

7月にはプロジェクトリーダーによる現地視察も実施。現場で被災地支援を行っている団体とも顔が見える関係を構築し、これから具体的な行動を起こそうとしています。

大震災という危機的状況において、行政と市民が手を携えて支援を行っていくのも協働のひとつのスタイルです。



### あしや市民活動センター

#### □利用の案内

- ・ 利用時間: 午前 10 時～午後 5 時(月曜～土曜日)
- ・ 休館日: 日曜日・祝日(国民の休日)・年末年始

#### □アクセス

- ・ 精道小学校北側 旧消防署の北の道を東に100メートル
- ・ 「阪神芦屋駅」・阪急バス「阪神芦屋停留所」から東に徒歩2分

#### □連絡先:

〒659-0064 芦屋市精道町5番11号  
TEL: 0797-26-6452 FAX: 0797-26-6453  
Eメール: aia@ashianpo.jp



## 市内中間支援団体交流事業 All Ashiya 交流会・2011 夏

7月22日(金) 芦屋市民センターにおいて、39団体75人が参集して開催されました。オープニングには夏らしいハワイアンソングがアロハハイタウンズの歌と演奏で披露されました。主催者である山中 健市長から開会挨拶をいただき、岡本 威副市長と福岡 憲助教育長もご出席いただきました。NPO 法人さんぴいす理事長の河口 紅さんから『すきやきから学ぼう！参画と協働』と題しての基調発題が行われました。



NPO 法人さんぴいす  
理事長 河口 紅さん

関東と関西出身のカップルがすき焼きの材料や作り方が違うことにカルチャーショックを覚え、喧々諤々議論の末、お互いが歩み寄り、二人ならではのすき焼きを創作していく…つまりこれは、異分野が話し合いながら協働していく過程と同じではないか…という、美味しそうなの？発想で胃袋に…いえ胸にすんと落ちました。

その後、7つの活動分野(福祉・子育て・まちづくり・国際交流・環境・生涯学習・文化芸術)に分かれて「行政と取り組みたいことは何か」と「All Ashiya 交流会の役割は何か」をテーマにワークショップが行われました。

芦屋の街のランドデザインを描く、芦屋川を教材とした環境学習、高齢者・子ども・多世代が集える居場所づくり、制度の枠外の人へのサービス、美博やルナホールなど文化芸術の社会資源をもっと手軽に使えるように…など行政と取り組みたいという意見が出ました。



交流会の役割としては異分野の団体と出会えて、意見交換ができたり、行政とNPOの協働を考える場という認識も広がってきたように思います。

この交流会も今回で5回目となりました。次回(平成24年1月開催予定)は今回のワークショップの結果を踏まえて、行政とのラウンドテーブルスタイルでの開催を目指していきたいと考えています。「新しい公共」の時代、芦屋市においても行政と多分野の市民活動がコラボレーションできるチャンスと場を提供することもこの交流事業の役割のひとつです。



## 市民による映像制作セミナー -だれでも簡単! 映像で発信しよう-

6月4日(土)開催

### ■携帯やデジカメで、簡単に動画作成。活動記録に活用しよう!

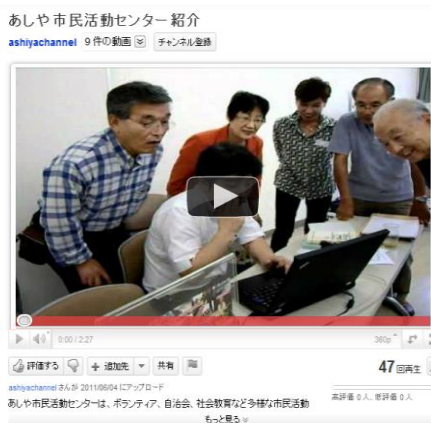
市民活動支援のセミナー事業の一つとして動画作成講座を開催しました。携帯電話(スマートフォン)や小型デジタルカメラについている動画機能を有効活用し、今まで静止画中心だった活動記録をより動きのある動画に変えるスキルを身につけて、多くの皆さんに活動の様子を知ってもらおうのが狙いです。



### ■動画作成のできる市民育成を。

参加者は、自治会の役員さんや市民活動団体の広報担当の方で、「興味はあるけどどこから始めたらいいか…」と言う初心者の方から、学生時代に経験がある方までさまざま。当センターの登録団体「芦屋チャンネル」から講師(大谷、神吉、森口(敬称略、50音順))をお招きし、スマートフォンやデジタルカメラを使った1分程度の動画作成ワークショップを行いました。

この動画は、<http://www.ashiyachannel.com/>でご覧いただけます。



4時間の長丁場ながら、機材の使い方・シナリオ作成、撮影実習、動画編集、インターネット動画サイトへのアップロード作業と盛りだくさんな内容に皆さんご満足頂きました。再度開催の希望もいただいております。今後は実技編やシナリオ作成編など、個別セミナーも予定しています。

### 📞 動画作成にご関心のある方は、ぜひご連絡ください!

今後も、あしや市民活動センターでは、動画作成にご関心のある団体を支援していきます。ご関心のある方は、当センターまでご一報ください。また「こんな講座をして欲しい」というリクエストもお気軽にどうぞ!

## F P セミナー 「親子でマネーゲーム」

7月30日(土)、兵庫県南ファイナンシャルプランナーズ協同組合のご協力により、「親子でマネーゲーム」が実施されました。サイコロとカードをつかったすごろくスタイルでゲームは進行していきます。マネーゲームなのでお金は



絡んでくるのですが、そこに「満足度」という基準がプラスされ大小のビー玉で表されます。例えば収入にならなくても友達と遊んだ時には満足度が増えていきます。最後にビー玉を多く集めた人が評価される仕組みです。お金があっても満足度が低ければ幸福といえるのか、さりとてお金がなくては何もできないという奥の深い深いゲームでもあり、親子ともども価値観を考える機会になったのではないのでしょうか。



## 夏休み企画 親子で平和をかんがえる・平和をつくる



8月5日(金)・主催: 芦屋市 後援: 芦屋市教育委員会  
(芦屋市民センターにて 小学3・4年生と保護者対象)

「みなさん平和ですか?」という問いかけに、戸惑った表情の子どもたちでしたが、紙芝居が始まると真剣なまなざしで食い入るように聞いていました。原爆の絵というと凄惨なものを想像しがちですが、柳生さんの絵はその被害の深刻さをしっかりと伝えつつも、柔らかな



タッチで描かれているので、子どもたちにもただ恐ろしいというだけでなく、どういったことが起きたのかがしっかり伝わったようです。また被爆された方のお話はとても貴重で、保護者の方からも子どもと平和について考えるとてもいいきっかけになった、という声をたくさん聞くことができました。